

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	障害者雇用創出・就労啓発事業での地域ネットワーク形成		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター	
	行政	横浜市健康福祉局障害企画課	
事業の目的	障害者の雇用及び就労啓発を目的とし、共生社会の実現に寄与するショップを、平成 32 年に新市庁舎（北仲通地区）及び J R 関内駅北口高架下（関内駅周辺地区）に設置するにあたり、近接エリアに位置する両ショップを連携させながら、地域とのつながりを持って運営できるショップとしていくための仕組みづくりに取り組む。		
事業の内容	<p>(1) 2つのショップの連携方法の検討 近接エリアに位置する2つのショップに繋がりを持たせる連携方法について、運営事業者を含めて検討する。</p> <p>(2) 新市庁舎ショップの公募内容の検討 新市庁舎ショップ運営事業者公募に向け、新市庁舎整備計画との融和や、本事業目的に合致した提案を得られるよう、公募内容の検討を行う。</p>		
役割及び責任分担等	事業項目	受託者の役割	委託者の役割
	2つのショップの連携方法の検討	<ol style="list-style-type: none"> 1 企画検討 2 運営事業者との協議 3 マーケティングリサーチ 	<ol style="list-style-type: none"> 1 企画検討 2 運営事業者との協議 3 2つのショップに関する情報提供
	新市庁舎ショップの公募内容の検討	<ol style="list-style-type: none"> 1 コンセプト・募集要領の検討 2 関係団体等へのリサーチ 3 募集要領の作成 	<ol style="list-style-type: none"> 1 コンセプト・募集要領の検討 2 関係団体等へのリサーチ 3 募集要領の作成 4 新市庁舎に関する情報提供
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1 各種打合せ日程の調整 2 各種打合せ資料の作成 3 各種打合せでの記録まとめ 	<ol style="list-style-type: none"> 1 各関係者との初回打合せの日程調整 	
実施期間	平成 30 年 12 月 28 日から平成 31 年 3 月 31 日		

記入日	令和元 年 6 月 20 日
記入者	<p>[団体等]</p> <p>・団体等名： 特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター</p>

	<p>・記入責任者 氏名： 吉川 典子 連絡先： 045-228-9117</p>
	<p>[行政]</p> <p>・部署名： 健康福祉局障害企画課</p> <p>・記入責任者 氏名： 平野 明日香 連絡先： 045-671-3992</p>

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		団体等	行政
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	B	B
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	B
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合って決めることができましたか。	A	B
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合って役割分担を決めることができましたか。	A	B
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合ってよく理解することができましたか。	A	B
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	C	C

②事業実施段階

		団体等	行政
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	B
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	A	A
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	A	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	A	B
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	B	B
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	C	C

③ふりかえり段階

		団体等	行政
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合って共有できたか。	B	A
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合って確認することができたか。	B	B
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり

(協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・協働契約書の仕様内容に基づいて、全体的な実施内容の整理やスケジュールの共有をすることができた。特に、本事業の事業趣旨でもある「障害のある方の就労」についての双方の認識のすり合わせができたことで、関係団体等へのヒアリングやリサーチを有意に進めることができた。
- ・障害者の就労啓発や雇用促進の現状や課題について、就労現場の声を踏まえて認識を共有することができた。ネットワーク構築にあたり、ステークホルダーとなる団体や企業、個人の存在や可能性をお互いに出し合い、認識やネットワーク、具体的な取り組み事例の把握など現時点での双方の資源を出し合うことで、違いに気づき、新たな発見やつながりを見出すことが出来た。

【今後改善が必要と思われること】

- ・実施期間が短かった割に作業量が多く双方の負荷が大きかったことと、短期間だったことで最終的にまとめていくイメージの共有や広報媒体（HP等）での発信があまり進められなかったため、今後は事業開始前に作業量や実施時期等をしっかり計画立てて取り組んでいけるようにしていきたい。
- ・市庁舎ショップ公募のスケジュールを軸に他のプランを立てたこともあり、「2つのショップの連携方法の検討」が計画的に進められなかった。今後特にネットワークづくりに注力していくうえで、2つのショップが主体的にかかわれるよう、計画段階からの協力を調整していきたい。

事業実施

(協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・協働相手をもつ既存のネットワークや地域づくりのノウハウ、行政がもつ情報の共有等により、様々な主体へヒアリングやリサーチを行うことができ、新市庁舎ショップの公募要領においても、固い考えや福祉だけにとらわれることなく、“地域”を意識した形にまとめることができた。
- ・定期的な打合せの場を設けるだけでなく、進捗の都度小まめな情報共有を行い、サポートしあいながら事業実施することができた。
- ・「ショップ公募内容の検討」については、それぞれが多く時間をかけ検討と文書の作成などを行っただけでなく、ともに現場に足を運びヒアリングやリサーチを行ったことで、会議や打ち合わせ以上に共通の認識を持つことにつながった。また、計画段階から担当者間に率直な関係性をつくることを心掛けたため、お互いの強みと弱みをよく理解し合い事業実施において力を出し合うことができた。

【今後改善が必要と思われること】

- ・資料やデータの作成期間が不足していたため、今後はゆとりを持って取り組んでいきたい。
- ・事業の情報発信については現状メディアが限定されており、ターゲットに合わせた方法によるタイムリ

一な発信を心がけていきたい。

- ・引き続き互いに補い合いながら小まめな情報共有を進めていきたい。

事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・公募要領や添付資料を分担して作成したことにより、事業目標を可視化し内外の認識共有を効果的に進めることができた。
- ・お互いのネットワークを活かして多数のヒアリング、現地視察を行ったことで、ショップ運営に必要な情報を整理するリサーチにつながった。また、ヒアリング対象者がショップ運営者応募に意欲的になる、ショップのイメージを従来のものから転換する思考を持つなど、ヒアリングの2次的な効果も確認された。
- ・協働相手をもつネットワークや知識を活かしたヒアリングや事業モデルの選出を行うことができた。それにより、地域とのつながりをもったショップという、今後の地域ネットワークの軸ともなるイメージ図をまとめることができた。このイメージ図を活かして、今後のネットワーク構築に役立てていきたい。

自由記入欄